

森林パトロール通信

令和4年6月発行 第1号

「あすなろ自遊モリ森」

森林教室・空中取り木苗作製体験を実施

6月1日（水）心配された雨も森林教室開始時には上がり、中里中学校1学年50名を対象とした本年度第1回目の森林教室、空中取り木苗の作製体験を行いました。

当日、中里中学校体育館で行った森林教室では、冒頭校長先生から「森林・木に親しみ有意義な活動にしてください。」等の挨拶後、白戸支署長からは「森林に興味をもってもらいたい。」等との挨拶があり、生徒たちは支署職員による「森林の役割」「森林鉄道」「青森ヒバとは」等についてクイズを交えながらの学習と空中取り木苗の作製動画を見ながら、現地で自らが行う作製のイメージを膨らませていました。

「森林鉄道」を知っていますか？の質問に対して、約半数の生徒が知っていると言ったことには、予想より多くビックリしました。

その後、スクールバスで現地の今泉山国有林350ろ林小班内に移動、職員から安全に関する事項等を説明し、10班に分かれ空中取り木苗作製に取りかかりました。



森林教室の様子

◎空中取り木作製の様子





各班のコーチから指導を受け、作成動画でイメージを描いていたからか、各班ともスムーズに空中取り木苗を作製していました。中には「水ゴケが気持ち悪い」という女子生徒もいましたが、予定通り各自1本の「空中取り木苗」が完成し、自分のネームプレートを取付け、9月30日の植樹までに根が出ていることをお願いする女子生徒もいました。

作業終了後、生徒代表2名から感想があり、教頭先生からは「中泊町は、農林水産業の全てがあり、良いところです。」「今日の皆さんは積極的に質問する等、このような姿勢はとても素晴らしいことです。」との講評をいただきました。

そして、9月の再会を約束し帰路につきました。(後は、空中取り木苗が立派に発根するよう願うばかりです。)



お知らせ

6月22日(水)、五所川原市五月女范国有林内において、令和4年度金木支署クリーン作戦を開催いたしますので、森林ボランティア巡視員の皆様のご参加をお待ちしております。